



安心院支所前の交差点でラウンドアバウトの社会実験を開始してから9ヶ月近く経過しました。

今回、本格運用へ向け、通行しやすい歩車道境界の段差形状を検討するため、宇佐市視覚障害者協会の方3名と介助者4名の計7名とともに現地調査を行いました。

現地調査では、様々なタイプの段差を実際に通行してもらい、境界の識別性等について意見を頂きました。



期 日 令和2年8月2日（日）10時～

場 所 大分市（大分城址公園前、ホルトホール前、県立美術館前の横断歩道）

参加者 宇佐市視覚障害者協会 3名
ボランティア 4名

その他 大分県道路保全課、宇佐土木事務所、宇佐市

【 現 地 調 査 状 況 】

